

【問1】 A～Eの学生5人における政治学、経済学、行政学、社会学、法律学の5科目の履修状況について次のことがわかっているとき、確実にいえるのはどれか。

【国一般25年度】56_0*

- ①5人が履修している科目数はそれぞれ3科目以内である。
- ②政治学を履修している者は2人いる。
- ③経済学を履修している者は2人おり、そのうちの1人はAである。
- ④行政学を履修している者は3人おり、そのうちの1人はAである。
- ⑤社会学を履修している者は3人おり、そのうちの2人はAとDである。
- ⑥法律学を履修している者は4人いる。
- ⑦AとEが2人とも履修している科目はない。
- ⑧Cは政治学も社会学も履修していない。

- 1 Bは政治学を履修していない。
- 2 Bは行政学を履修していない。
- 3 Cは経済学を履修していない。
- 4 Dは経済学を履修していない。
- 5 Dは行政学を履修していない。

【問2】 男性A、B及び女性C、D、Eの計5人が、ある週の月曜日から金曜日までの5日間、コンビニエンスストアでアルバイトをした。A～Eのアルバイトの日程について次のア～エがわかっているとき、確実にいえるのはどれか。【国Ⅱ_18年度】59_1*

ア 各曜日とも3人が働き、また、A～Eはいずれも3日間働いた。

イ 各曜日とも男性が少なくとも1人は働いた。

ウ Aが2日間連続して働いたことはなかった。また、Eは3日間連続して働いた。

エ Bは金曜日に働き、また、C、DはそれぞれEと1日だけ一緒に働いた。

- 1 Aは、Cと2日間一緒に働いた。
- 2 Bは、Dと1日だけ一緒に働いた。
- 3 Cは、Dと2日間一緒に働いた。
- 4 Dは、水曜日に働いた。
- 5 Eは、火曜日に働いた。

【問3】 A～Fの6人が3対3に分かれてバスケットボールの試合を行うため、チーム分けをした。チーム分けの方法は、6人が一斉にグー又はパーを出し、出されたものが同数になるまで繰り返し、同数になったとき、出したものが同じ者どうしが同じチームになるものとし、その結果、4回目でチームが決まった。チーム分けについて、各人が次のように述べているとき、確実にいえるのはどれか。

【国一般26年度】64_4**_

- A：「3回目まで毎回少数派であった。最終的にはDと同じチームになった」
 B：「2回目以降は、その前の回と異なるものを出した。最終的にはEと同じチームになった」
 C：「3回目まで毎回多数派であった」
 D：「3回目まで毎回同じものを出し、4回目はこれまでと異なるものを出した」
 E：「2回目で私と同じものを出した者は私以外に3人いた」
 F：「2回目以降は、その前の回で少数派であったものを出した」

- 1 1回目は、多数派5人と少数派1人に分かれた。
- 2 3回目は、多数派5人と少数派1人に分かれた。
- 3 4回とも同じものを出した者は1人いた。
- 4 AとEが同じものを出した回はなかった。
- 5 CとFが同じものを出した回は3回あった。

【問4】 5人の高校生A～Eが、選択科目の地理、化学、生物、美術、音楽の5科目から2科目を選択して、授業を受けている。選択科目の授業は、月曜日から金曜日までの各曜日に1科目ずつ割り振られており、各科目とも2名の生徒が選択している。今、次のア～オのことがわかっているとき、確実にいえるのはどれか。【地上21年度】71_7*

- ア AとDは、水曜日に地理の授業を受けている。
 イ Bは、化学の授業とその翌日に美術の授業を受けている。
 ウ Cは、月曜日と金曜日に選択科目の授業を受けている。
 エ Eが選択した科目は、BとDも選択している。
 オ 音楽の授業は、生物の授業の翌日にありCが選択している。

- 1 Aは、月曜日に化学の授業を受けている。
- 2 Bは、木曜日と金曜日に選択科目の授業を受けている。
- 3 Cは、美術と生物を選択している。
- 4 Dは、音楽と地理を選択している。
- 5 Eは、木曜日に生物の授業を受けている。

【問5】 A～Gの7人の小学生が縦に1列に並んでいる。AとFとの間には4人がいて、GとFの間には1人が、Eから1人おいて前にCが並んでいた。

次のいずれかの条件が加わると7人の並び方が確定するが、その条件はどれか。

【国Ⅱ_14年度】90_1*

- 1 Aのすぐ後ろはDである。
- 2 Bの前後はEとGである。
- 3 Cは先頭である。
- 4 Dは最後尾である。
- 5 EはAより後方である。

【問6】 ある高校において、A～Eの5人は1～5組のそれぞれ異なる組の生徒であり、A又はEのいずれかは、1組の生徒である。A～Eの5人が体育祭で100m競走をした結果について、次のア～エのことがわかった。

ア Aがゴールインした直後に3組の生徒がゴールインし、3組の生徒がゴールインした直後にCがゴールインした。

イ Dがゴールインした直後に5組の生徒がゴールインし、5組の生徒がゴールインした直後にBがゴールインした。

ウ 2組の生徒がゴールインした直後に4組の生徒がゴールインした。

エ 同じ順位の生徒はいなかった。

以上から判断して、確実にいえるのはどれか

【地上20年度】90_2*_

- 1 1位は、Eで1組の生徒であった。
- 2 2位は、Dで3組の生徒であった。
- 3 3位は、Aで5組の生徒であった。
- 4 4位は、Cで2組の生徒であった。
- 5 5位は、Bで4組の生徒であった。

【問7】 A～Fの6人がマラソンをした。コースの中間にあるX地点とゴール地点での順位について次のア～キのことがわかっているとき、最後にゴールしたのはだれか。

【地上24年度】95_5*

- ア Bは、X地点を4位で通過した。
 イ Fは、X地点を6位で通過した。
 ウ BとDとの間には、X地点でもゴール地点でも、だれも走っていないかった。
 エ EのX地点での順位とゴール地点での順位は、変わらなかった。
 オ Fのゴール地点での順位は、CとDとの間であった。
 カ X地点を1位で通過した者は、4位でゴールした。
 キ X地点を5位で通過した者は、2位でゴールした。

- 1 A
- 2 B
- 3 C
- 4 D
- 5 E

【問8】 それぞれ身長異なるA～Eの5人の生徒がいる。先生を先頭にして1列に並んだとき、自分の前方に自分より身長の高い生徒が1人もいなければ先生が見え、自分の前方に自分より身長の高い生徒が1人でもいると先生が見えないとすると、次のような3通りの並び方をしたとき、先生が見える生徒の人数は表のとおりである。このとき、次のうちで確実にいえるものはどれか。

【市役所21年度】105_10**

I	先生	A	E	B	D	C	先生が見えるのは2人
II	先生	E	B	C	A	D	先生が見えるのは3人
III	先生	D	A	C	E	B	先生が見えるのは3人

- 1 Aの次に身長が高いのはBである。
- 2 Dが3番目に身長が高いとき、Bは2番目に身長が低い。
- 3 Cの次に身長が高いのはDである。
- 4 BはEより身長が低い。
- 5 AはCより身長が高い